

1. 主 題 名 「相手のことを理かいするために」【内容項目 B 相互理解、寛容】
2. ね ら い 相手を理解するために大切なことを考え、異なる意見も大切にしようとする態度を育てる。
3. 教 材 名 「たてわりはんそうじ」（光村図書 P.78～81）

日 時 令和6年 月 日（ ）
第 校 時 時 分～ 時 分
対 象 みどり B 学級第 3 学年 2 組 5 名
授業者 宮 寺 翔
会 場 みどり B2 組教室

4. 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

【B 相互理解、寛容】は、中学年から扱う内容項目である。

人はそれぞれに考えや意見をもっており、その違いがあるから豊かな社会が形成されている。また、異なる意見や立場を尊重し、受け入れられるからこそ、自らを高めていける。そして、自らも過ちを犯すことがあるという謙虚な気持ちがあるからこそ、他人に対して寛容になれるのである。一人一人が、自分と異なる立場や考えがあることを理解し、互いの考えを尊重し合う人間関係を築いていくことが大切である。

しかし、発達段階や障害の特性などの理由から、他者の気持ちや考えを汲み取ることが難しい人もいる。そのため、他者の立場や考えを受け入れようとせず、自分本位に決めつけて行動してしまうことがある。それは、他者の気持ちや考えを知る方法を学ぶことで解決できるだろう。相手はなぜ、そのような気持ちになっているのかを知るための言葉や関わり方を、丁寧に伝えていくことが必要である。

(2) 児童の実態について

自閉症・情緒固定学級の児童は、「人の気持ちが分からない」「人の気持ちを想像しづらい」という特性をもつ。本学級の児童も同様である。そのため、友達や家族、他の人とトラブルになってしまったという経験を、多くしてきている。なぜなら、「人の気持ちが分からない」「人の気持ちを想像しづらい」という特性は、「人の気持ちを確認する」という、ごく当たり前の行動を忘れさせてしまっているからである。そのため、本学級の児童はソーシャルスキルトレーニングも兼ねて、本教材を学習する。相手の気持ちの確認する方法を学び、具体的な場面を体験的にインプットできるようにしていきたい。

また、3 年生は家族以外の人との関わりが徐々に広がり、友達との仲間意識が強くなる時期である。しかし、その関わり方は自分本位であることが多く、相手の考えを決めつけてしまうこともしばしばある。本学級の児童は障害の特性も相まって、自分本位な関わり方をしてしまうことは多いだろう。友達との関わりは増やしたいが、うまくいかない、と悩んでいる児童もいる。そのギャップに折り合いを付けたり、どのような関わり方がよいとされているのかを本教材から学び、今後のコミュニケーションにいかせるような実践意欲を育てていきたい。

(3) 教材について

本教材のテーマは、相手のことを理解するために大切なことを考えることである。いつきに対するタ里と保健の先生の対応から、どのような方法で相手の気持ちを確認すればよいか、どのような関わり方がよいかを具体的に学ぶことができる。さらに、その対応の違いから、相手の気持ちを分かるためには、どんなことが大切なのかを考えさせていくことができる。お互いに分かり合うことでよりよい関係を築くことができることや、そのためには相手の気持ちや考えを分かろうとする気持ちが必要なことを考えさせたい。

6. 本時の学習

	本時の指導の流れ □主な発問 ・予想される児童の反応	・留意点など	児童 I.S	児童 O.H	児童 K.S(か,し)	児童 K.S(こ,そ)	児童 Y.A
導 入	□ 人の気持ちを「分かった」と感じたことはありますか。どんな気持ちだと思いましたか。 ・ある。友達が、一緒に遊んでいて楽しそうだった。 ・ある。約束を破ってしまった時は、お母さんが悲しそうだった。 ・分からない。 ・ない。	・人の気持ちを分かるのは難しいが、上手になれることを理解する。 ・相手との関係を確認し、関係が浅い人ほど気持ちが分かりにくいことをおさえる。	・教員や黒板に注目させる。 ・挙手をしてから発言させる。	・姿勢が崩れないよう、言葉掛けをする。 ・教員や黒板に注目させる。	・	・不調にならずに学習に参加できるとよいことを確認する。	・姿勢が崩れないよう、適宜言葉掛けをする。 ・教員や黒板に注目させる。 ・挙手して発言ができる児童。そこを褒めて他の児童の意識付けをしたい。
	人の気持ちを分かるようになるために、大切なことを考えよう。						

展開	○「たてわりはんそうじ」を読んで、話し合う。 □ どうして、夕里はいつきの気持ちが分からなかったのでしょうか。 ・掃除の仕方を教えてあげたかったから。 ・怒っていたから。 ・先週もほうきを使っていたから。 ・優しく聞かなかったから。 ・いつきを「わがまま」だと決めつけてしまっていたから。 □ どうして、先生はいつきの本当の気持ちを聞くことができたのでしょうか。 ・優しく聞いてあげたから。 ・理由を聞いてあげたから。 ・先生だから。 ・優しい先生だから。 ↓ □ 人の気持ちを分かるために、大切なことは何でしょうか。 ・優しく話を聞いてあげる。 ・相手の話を最後まで聞く。 ・相手の気持ちを決めつけずに、話を聞く。 ・相手の理由を聞いてあげて、話し合う。 ○具体的な場面を演じて、考えを深める。 □ あなたなら、どのように声をかけますか。 ①理由を聞く ②解決策を自分で考える（話し合って決める）	・朗読の教材を活用する。 ・話の内容に合うよう、挿絵を提示し、場面を想像しやすくする。 ・自分中心な理由や感情的な理由から、いつきの気持ちが分からなかったことを確認する。 ・教材文内の事実だけに終始しないよう、補助しながら進めていく。 ・先生の対応の仕方を板書し、夕里と対称的な先生の態度を捉えさせる。	・朗読と挿絵に集中して話を聞くように事前に言葉掛けをする。	・出し抜けに話したり、音を立てたりせず、落ち着いて学習に参加するよう、言葉掛けをする。 ・考えが浮かばない場合は、友達の意見を聞いたり、教員に相談したりして考えることができるよう支援する。	・言葉の意味や分からないところがないか確認する。 ・考えが浮かばない場合は、友達の意見を聞いたり、教員に相談したりして考えることができるよう支援する。	・言葉の意味や分からないところがないか確認する。 ・発問の内容を正しく捉えて発言できるよう、支援する。	・出し抜けに話したり、音を立てたりせず、落ち着いて学習に参加するよう、言葉掛けをする。
まとめ	□ 今日学んだことを振り返る。						